

化石掘り

対馬 一男

開催日時：平成18年9月23日(土) 10:00~12:00

場所：北広島市輪厚

参加者：小学生15名、父母7名、畠 誠さん他北広島市教育委員会3名

分科会参加者：野口 昌宏、対馬 一男

内容及び感想等

10:00に西部小学校に集合。火山灰の露頭がある近くの現場に移動。

野口さんと対馬の自己紹介。参加者のなかには昨年のサツマイモ掘りに参加した子どももいた。



地表に貝化石が散乱しているあたりの土を教育委員会の方がスコップで掘り起こす。
掘り起こされたあたりを、参加者が用意したショベルやねじり鎌を使って化石を探す。
大半の時間が化石掘りに費やされた。



予定時間も迫ったころ、現場の露頭を観ながら地層が堆積した時代や環境に関する説明が野口さんからなされた。化石の出る地層が足元に分布していて、それが連続していることも確認した。畠さんからは化石になった貝の名前や、生息していたころの環境について説明がなされた。12:00解散。



子どもも大人も掘り始めると、熱中してひたすら化石を探し続けた。掘っている間は難しい説明がなされなかったことが良かったと思う。まずは化石に対する興味を持ってもらうことが大切であると感じた。採取した化石は各自記念として持ち帰ったが、この中から未来の地質屋が誕生することを期待する次第である。

- 以上 -